

【レポート販売】「12 電池業界の実態と将来展望」を販売開始

報道関係者各位

平成23年7月28日

株式会社クロス・マーケティング
(東証マザーズ 3629)

「12 電池業界の実態と将来展望」を販売開始

～家庭用・大型蓄電池の市場動向と将来性を探る～

■■ 要約 ■■

マーケティングリサーチを行う株式会社クロス・マーケティング（代表取締役社長 五十嵐 幹 東京都中央区）は、情報通信関連機器・電子部品及び材料・エネルギー・環境についての調査業務を行う株式会社日本エコノミックセンター（代表取締役 石澤 宜之 東京都中央区）が発行する調査資料「12 電池業界の実態と将来展望」の販売を開始しました。

詳細ページ：http://www.cross-shop.jp/products/detail.php?product_id=631

■■ 資料概要 ■■

リチウムイオン電池（LiB）をはじめとする高性能二次電池は、ポータブルIT機器や動力用の普及拡大に加え、東日本大震災後の電力不足の影響により電力不足となって節電・省エネ対策でニーズが高まっている蓄電池・システム向けもあって、需要は着実に増加している。LiBは、スマートフォン・電子書籍端末の拡大や電気自動車（EV）などの動力用の多目的モジュール需要が増加しており、右肩上がりの推移である。市販ニッケル水素電池（Ni-MH）も、節約志向や省資源の高まりに伴って順調に市場を拡大している。

家庭用蓄電池は、夜間の安い電力や太陽光発電などの自然エネルギー由来の電力を貯蔵し、停電時などに利用する。昼間のピーク電力時に使用すれば、ピークカットにもつながる。事業所などの業務用ではバックアップ電源などですでに実用化されているが、今回の震災の影響で家庭用が一気に現実味を帯びた。家電量販店のヤマダ電機やソニー、中国BYDが販売したほか、東芝、パナソニックなども投入する予定である。

2010年度に1兆円を突破したLiB世界市場は、2015年度には「環境対応車（EV・HV・PHV）」やスマートグリッド向け蓄電システムなどの拡大を受け、3兆円（10年度比2.7倍）を突破。海外メーカーの追い上げが厳しいLiB材料世界市場は、15年度に5,540億円（同74%増）を予測する。

■■ 資料目次 ■■

第I章 一次・二次電池市場の動向と展望

1. 電池国内市場の動向と展望

(1)電池国内市場の現状と動向（2010～2011年）

(2)電池統計資料（経済産業省）

（電池総生産／販売数量長期推移表／販売金額長期推移表／電池販売数量・金額推移表／電池別販売数量長期推移表／電池別販売数量推移比較表／電池別販売金額長期推移表／電池別販売金額推移比較表）

2. 電池世界市場の現状と動向

(1)電池世界市場概況（2010～2011年）

[1]電池世界市場規模予測（2008～15年度）

[2]一次電池世界市場規模予測／一次電池別市場規模予測

[3]マンガン乾電池世界市場規模予測／シェア

[4]アルカリ乾電池世界市場規模予測／シェア

[5]リチウム一次電池世界市場規模予測／シェア

[6]マイクロ一次電池世界市場規模予測／シェア

[7]二次電池世界市場規模予測／二次電池別市場規模予測

[8]リチウムイオン電池（LiB）世界市場規模予測／シェア

[9]リチウムイオン電池世界シェア推移／構成比率推移

[10]ニッケル水素電池（Ni-MH）世界市場規模予測／シェア

[11]鉛蓄電池世界市場規模予測／シェア

[12]ニカド電池世界市場規模予測／シェア

3. 一次電池国内市場の動向と展望

(1)一次電池市場概況（2010～2011年）

(2)市販一次電池の動向と展望

(3)一次電池統計資料（経済産業省）

（一次電池販売数量・金額推移比較表／一次電池別販売数量推移比較表／一次電池別販売金額推移比較表／一次電池販売数量・金額長期推移表／一次電池別販売数量長期推移表／一次電池別販売金額長期推移表）

4. 二次電池国内市場の動向と展望

(1)二次電池市場概況（2010～2011年）

(2)リチウムイオン電池（LiB）の動向と展望

(3)ニッケル水素電池（Ni-MH）の動向と展望

(4)二次電池統計資料（経済産業省）

（二次電池販売数量・金額推移比較表／二次電池別販売数量推移比較表／二次電池別販売金額推移比較表／二次電池販売数量・金額長期推移表／二次電池別販売数量長期推移表／二次電池別販売金額長期推移表）

5. 電池国内市場・弊社集計分析結果

(1)主要国内電池メーカー（弊社調査・集計）

- [1]電池メーカー販売金額推移予測（2008～15年度）
- [2]国内メーカー別電池販売金額推移予測
- [3]国内メーカー別一次電池販売金額推移予測
- [4]国内メーカー別二次電池販売金額推移予測

(2)電池メーカー販売金額／シェア（2008～15年度）

- [1]電池メーカー販売金額推移予測／シェア
- [2]一次電池販売金額推移予測／一次電池別販売金額予測
- [3]マンガン乾電池販売金額推移予測／シェア
- [4]アルカリ乾電池販売金額推移予測／シェア
- [5]リチウム一次電池販売金額推移予測／シェア
- [6]マイクロ一次電池販売金額推移予測／シェア
- [7]二次電池販売金額推移予測／二次電池別販売金額予測
- [8]リチウムイオン電池販売金額推移予測／シェア
- [9]ニッケル水素電池販売金額推移予測／シェア
- [10]鉛蓄電池販売金額推移予測／シェア
- [11]ニカド電池販売金額推移予測／シェア

(3)電池輸出数量・金額推移表（統計資料・財務省）

(4)電池輸入数量・金額推移表（統計資料・財務省）

第II章 一次・二次電池関連市場の動向と展望

1. リチウムイオン電池関連市場の動向と展望

(1)LiB関連市場概況と動向（2008～2015年度）

- [1]LiB関連製品別世界市場予測／構成シェア推移
- [2]LiB用途別出荷金額推移予測／構成シェア推移

2. 情報通信機器市場の動向と展望（～2015年度）

- (1)タブレット端末（iPad）の市場動向と展望
- (2)タブレット端末（iPad）世界市場規模予測
- (3)スマートフォンの市場動向と展望
- (4)スマートフォン世界・国内市場予測／シェア
- (5)ノートパソコンの市場動向と展望
- (6)ノートパソコン世界・国内市場予測／シェア
- (7)携帯電話の市場動向と展望
- (8)携帯電話世界・国内市場予測／シェア

3. デジタルAVC機器市場の動向と展望（～2015年度）

- (1)デジタルカメラの市場動向と展望
- (2)デジタルカメラ世界・国内市場予測／シェア
- (3)デジタル一眼レフカメラ世界・国内市場予測／シェア
- (4)デジタルビデオの市場動向と展望
- (5)デジタルビデオ世界・国内市場予測／シェア

- (5)PND・カーナビゲーションの市場動向と展望
- (7)PND世界・国内市場予測／シェア

4. 有望アプリケーションの市場動向と展望

- (1)有望アプリケーション市場概況と動向（～15年度）
- [1]電動二輪車（バイク）世界／国内市場予測
- [2]電動アシスト自転車国内市場予測／シェア
- [3]ポータブルDVD・CDプレーヤー市場予測／シェア
- [4]電池器具・懐中電灯国内市場予測／製品別市場予測

第III章 家庭用・大型蓄電池の動向と展望

1. 家庭用・大型蓄電池の動向と展望（～2025年度）

- (1)新エネルギーと蓄電池
- (2)蓄電池（二次電池）の現状と動向
- (3)家庭用・大型蓄電池の現状と動向
- [1]家庭用蓄電池世界・国内市場規模予測／シェア
- [2]家庭用蓄電池メーカー出荷金額推移予測／構成推移
- [3]大型蓄電池世界・国内市場予測／二次電池別市場予測
- [4]スマートグリッド用蓄電池市場予測／電池別予測
- [5]用途別蓄電池市場予測／市場構成推移

2. 家庭用・業務用蓄電池関連メーカーの動向と展望

- (1)エリーパワー 株式会社
- (2)川崎重工業 株式会社
- (3)株式会社 GSユアサ
- (4)ソニー 株式会社
- (5)株式会社 東芝
- (6)日本ガイシ 株式会社
- (7)三菱重工業 株式会社

3. 自動車用二次電池の動向と展望（～2025年度）

- (1)次世代自動車国内市場概況と動向
- (2)次世代自動車世界市場概況と動向
- (3)自動車用リチウム二次電池の技術動向
- (4)リチウム二次電池と自動車メーカーの提携関係
- [1]環境対応車世界市場予測／自動車別市場予測
- [2]自動車用二次電池世界市場予測／シェア
- [3]自動車用二次電池メーカー別出荷金額推移予測
- [4]自動車用LiB構成材料市場／材料別市場予測

4. 自動車用二次電池・自動車メーカーの動向と展望

- (1)オートモーティブエナジーサプライ 株式会社

- (2)トヨタ自動車 株式会社
- (3)日産自動車 株式会社
- (4)日立ビークルエナジー 株式会社
- (5)プライムアースEVエナジー 株式会社
- (6)本田技研工業 株式会社
- (7)三菱自動車工業 株式会社
- (8)株式会社 リチウムエナジージャパン

第IV章 二次電池関連部材の動向と展望

1. リチウムイオン電池構成材料の動向と展望（2008～20年度）

- (1)LiB構成材料の概要と市場動向
- (2)リチウム二次電池と材料メーカーの供給関係
- (3)LiB構成材料世界市場予測／主要材料別世界市場予測

2. 二次電池用正極材の動向と展望（2008～20年度）

- (1)電池用正極材の概要と市場動向
- (2)LiB用正極材世界市場規模予測／シェア
- (3)リチウム化合物の概要と需要動向

3. 二次電池用負極材の動向と展望（2008～20年度）

- (1)電池用負極材の概要と市場動向
- (2)LiB用負極材世界市場規模予測／シェア

4. 二次電池用セパレータの動向と展望（2008～20年度）

- (1)電池用セパレータの概要と市場動向
- (2)LiB用セパレータ世界市場規模予測／シェア

5. 電解質・イオン液体の動向と展望（2008～20年度）

- (1)イオン液体の概要と市場動向
- (2)LiB用電解液・電解質世界市場規模予測／シェア

6. LiB主要材料メーカー別出荷金額予測（2010～15年度）

7. 電池材料メーカーの動向と展望（2010～14年度）

※ 調査項目：企業概要・販売推移予測・事業動向 等

- (1)旭化成イーマテリアルズ 株式会社
- (2)宇部興産 株式会社
- (3)関東電化工業 株式会社
- (4)株式会社 クレハ
- (5)JFEケミカル 株式会社
- (6)昭和電工 株式会社
- (7)ステラケミファ 株式会社
- (8)住友化学 株式会社
- (9)セルガード（米国）
- (10)株式会社 田中化学研究所

- (11)東海カーボン 株式会社
- (12)戸田工業 株式会社
- (13)日亜化学工業 株式会社
- (14)日立化成工業 株式会社
- (15)三菱化学 株式会社／その他メーカー

8. 二次電池関連技術の動向（大学・団体・特許）

第V章 主要電池メーカーの動向と展望

1. 国内電池メーカーの動向と展望（2010～14年度）

※ 調査項目：企業概要・販売推移予測・事業動向 等

- (1)NECエナジーデバイス 株式会社
- (2)FDK 株式会社
- (3)三洋電機 株式会社
- (4)株式会社 GSユアサ
- (5)新神戸電機 株式会社
- (6)セイコーインスツル 株式会社
- (7)ソニー 株式会社（ソニーエナジーデバイス(株)）
- (8)株式会社 東 芝
- (9)パナソニック株式会社 エナジー社
- (10)日立マクセルエナジー 株式会社
- (11)古河電池 株式会社

2. 海外電池メーカーの動向と展望（2010～14年度）

- (1)SK Innovation (旧:Energy) CO.,Ltd. (韓国)
- (2)LG化学 (韓国)
- (3)COSLIGHT GROUP (韓国)
- (4)サムスンSDI (韓国)
- (5)BAK Battery (中国)
- (6)BYD (中国)
- (7)Lishen Battery (中国)

■■ 概要 ■■

商 品 名：12 電池業界の実態と将来展望

発 刊 日：[2011年7月22日](#)

発 行：株式会社日本エコノミックセンター

販 売：株式会社クロス・マーケティング

判 型：B5/230ページ

価 格：

■製本

69,500円（本体価格66,190円＋消費税3,310円）

■CD-ROM

69,500円（本体価格66,190円＋消費税3,310円）

■製本＋CD-ROM

99,500円（本体価格94,762円＋消費税4,738円）

※各別途送料500円

詳細ページ：http://www.cross-shop.jp/products/detail.php?product_id=631

【お申し込み方法】

上記URLよりお申し込みください。

【お支払い方法】

法人様・・・銀行振込みの後払いとなります。

商品と同封、または別送にて請求書と納品書をお送りいたしますので、振込み期日までに指定口座へお振込みください。

個人様・・・銀行振込みの前払いとなります。

お申し込み後に請求書をお送りいたします。

ご入金を確認されましたから、商品を発送いたします。

■■ 株式会社クロス・マーケティングについて ■■

株式会社クロス・マーケティングは、国内130万人超の大規模モニターを軸に生活者の「生」の声を、主にインターネットを活用して収集するマーケティングリサーチ会社です。

生活者の嗜好の多様化や、商品サイクルの短期化に対応するため、ネットリサーチの優位性である「スピード」「コスト」に加え、「品質」を最大限に重視したリサーチサービスを展開しています。

調査企画から設計、実査、集計・分析レポートまで、マーケティングリサーチに関するあらゆるサービスをトータルにサポートいたします。

■■ 株式会社クロス・マーケティング 会社概要 ■■

名称：株式会社クロス・マーケティング

本社所在地：[東京都中央区銀座8丁目15番2号](#) 銀座COMビル6F

代表者：代表取締役社長 五十嵐 幹

設立：[2003年4月](#)

URL：<http://www.cross-m.co.jp/>

■■ 本件に関するお問い合わせ先 ■■

株式会社クロス・マーケティング

Cross Shop 販売窓口担当

Tel：03-3549-1319

Fax：03-5565-5458

Mail：cs-info@cross-m.co.jp

Facebook：<http://www.facebook.com/pages/Cross-Shop/164004066984033>

twitter : http://twitter.com/cross_CS

Generated by ふれりりプレスリリース
<https://www.prerele.com>